

「医療安全推進週間」を通じて伝えたいこと

目的
1

国民全体の医療安全への関心をもっといただく

『劇場版ドクターX』とタイアップ

決め台詞「私、失敗しないので」をもとに、「医療で“失敗しない”のは当たり前なのだろうか」と、患者側・医療側を含む国民全体で、**医療の安全について考えるきっかけ**をつくりたい。

1. 医療安全の呼びかけ動画・タイアップポスター

大門未知子を演じた米倉涼子さんよりコメント

○医療の現場は常に危険や想定外と隣り合わせです。そんな中でも安全な医療を目指すためには、医療チームみんなの協力と、安全のための**“仕組みづくり”**が鍵なんです。

○また、最近は**患者さんが医療の安全のために果たす役割**にも注目されているんですよ。

○みなさんも**医療の安全のこと、一緒に考えてみませんか。**（一部抜粋）

動画はコチラ



タイアップポスター



目的
2

医療安全への参画に必要な知識を国民に提供し、参画を促進

国民のみなさまへ

■知っていただきたいこと

✓ **医療にどのようなリスク(危険性)があるのか**

“回避できるもの・難しいもの”を含めて、医療には様々なリスクがあります。

✓ **リスクを減らすために、どのような取組があるのか**

医療機関は様々な工夫や取組をしています。
＜広報誌・動画で紹介した例＞ インシデント報告、医療安全委員会、患者確認
※インシデント = 事故や事故につながりそうな出来事

■実践していただきたいこと

✓ **回避が難しいリスクもあることを知り、納得した上で医療を受けましょう**

合併症・副作用などについてもしっかりと説明を聞き、疑問や希望を伝え、主体的に方針決定に関わりましょう。

✓ **リスクを減らす取組に参加・協力しましょう**

患者の参加・協力で、医療機関の取組の有効性が向上します！また、患者の“気付き”を積極的に伝えることが、リスクの管理につながります。
＜広報誌・動画で紹介した例＞ 患者確認への協力、受けた検査の結果の確認

▶ 広報誌「厚生労働」11・12月号の特集



- 専門家が分かりやすく解説
- 医療現場の取組を紹介
- ドクターX×医療現場×行政のスペシャル対談



▶ 医療現場の取組の取材動画



- 患者の安全への医療現場の思い
- 安全のための“仕組みづくり”
- 安全のために患者ができること



普段、目に触れることの少ない
水面下の取組を密着取材！

動画はコチラ